

3

# 社会と企業の 持続可能性を支える マネジメントをめざして



## OKIグループの生産活動と 各種マネジメント

グローバルな企業間競争が激化するなか、企業が持続的に成長・発展していくためには、新しい製品や技術開発、それに伴う新しい価値の提供に加え、モノづくりを支える的確なマネジメントが不可欠です。OKIグループは、生産活動を行っている国内およびタイ、中国、英国の各地で、OKIグループの強みである高密度実装、高速試験、高精度加工などの高度な生産技術のさらなる底上げと、緻密な生産管理の浸透に努めています。

モノづくりの現場で求められるマネジメントは多岐にわたります。製品の厳格な品質管理はもちろん、生産活動に伴う環境負荷の低減や、製造現場で働く社員の労働安全衛生などに確実に取り組むことが重要です。OKIグループでは、「OKIグループ企業行動憲章」にこれらの項目を掲げ、着実に遂行するためのマネジメントシステムを構築・運用しています。

品質に関しては、事業部門およびグループ各社に品質保証部門を設け、生産ラインや製品特性にあわせた最適な品質管理体制を構築しています。環境については、ビジネステーマおよびサイトテーマについてグループ全体で統合的なマネジメントシステムを構築して、効率的な環境活動を推進しています。労働安全に関しては、拠点ごとに労使で構成する「安全衛生委員会」を設置して日常的に管理しています。これらはサプライチェーンを通じたCSR推進の上でも不可欠な要素であることから、グローバルなCSR調達の要求事項を反映した調査フォーマットを作成し、グループ拠点への適用も開始しています。

## 操業する地域に貢献する 企業になるために

海外生産拠点においては、お客様のご要望にお応えできるモノづくりを国内と同様に推進することはもちろん、操業している地域の発展に貢献する、責任ある企業経営が望まれます。

OKIグループでは、海外生産を開始した当初からこうした認識に基づき、単なる経済的なメリットの追求ではない、操業する地域との信頼関係につながる拠点運営をめざしてきました。現地ベンダーや社員と一体となって生産技術の向上や緻密な生産管理の浸透に努めた成果として、近年では現地社員を主体とした生産改革など、地域に根付いた生産拠点マネジメントが各地で実践されています。また社員が業務を通じて得た技能を社会に役立ててもらえるよう、IT教育、語学教育、認定取得などを推進しています。

OKIグループはまた、国内外の各拠点において、地域の皆様とのコミュニケーションや地域社会への貢献活動にも積極的に取り組んでおり、2011年3月には中国の沖電気実業(深圳)有限公司でも初めて植樹活動を実施するなど、その活動の輪は広がっています(p25参照)。今後もこれらの活動を通じて、操業する国や地域との良好な関係を構築していきます。



深圳市南山区中山公園での植樹の様子

### Column

## 中国情報産業CSR優秀企業賞2010を受賞

中国においてソフトウェアおよび通信機器の設計・開発を行う沖電気ソフトウェア(江蘇)有限公司(OSTJ)は、2010年12月、中国コンピュータユーザー協会より「中国情報産業CSR優秀企業賞2010」を受賞しました。「中国情報産業CSR優秀企業賞」は、社員の労働環境整備や環境保全への取り組み、社会貢献などの分野で顕著な実績をあげたIT企業に授与される賞です。

OSTJは、2001年の設立以来、献血活動をはじめとするさまざまな社会貢献活動に努めてきたほか、2006年にはCSR推進委員会を設置、さらに2007年には、労働に関するマネジメントシステムを構築して、常州市のCSR規格「CSA8000」の認証を取得しました。今回の表彰は、これらの取り組みが評価されたものです。



北京で行われた授賞式